

〔事業所向け〕 児童発達支援 自己評価表

事業所名：【 音の森はこだて田家 】

実施日： 2024/3/19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③	療育空間は本児にわかりやすい 構造化 ※された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			
	④	事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の療育活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、実施を検討している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修計画に則り、一年を通して6以上の研修会を行っている。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容の中から 保護者のニーズ や子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか示せるように、タイルカーペットの色をわけてたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまがお子さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とします。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	移行支援として小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか		○		来年度より、土曜日療育にて系列事業所や他事業所との交流を考えている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援連絡協議会への出席。
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○		今年度、ペアレントトレーニング研修を実施、次年度に向けて、保護者の要望に応じて実施を検討。
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び保護者のニーズが反映された支援内容に基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか	○			
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報に十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事(ワークショップ等)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年に数回、音楽療育体験会を地域住民向けに実施し、療育内容に対する理解を深めて頂いております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか				該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当

[保護者様向け] 児童発達支援 評価表 集計結果

公表日：令和6年 3月25日

利用児童数 12名 回収数 12名 100%

事業所名：音の森はこだて田家

2024. 2実施

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制設備	① お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	0%	0%	8%	0%		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	75%	0%	0%	25%	0%		10名に対しては5名～6名の配置をしております。
	③ 事業所の設備等は、お子さまが安全かつ安心に通えるよう配慮がなされているか。事業所内は、お子さまにわかりやすい※ 構造化された環境 になっているか。	83%	0%	0%	17%	0%		タイルカーペットの色をわけたり、棚の配置場所などお子様にわかりやすいよう構造化しています。
	④ 事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子さまの療育活動に合わせた空間となっているか	83%	0%	0%	17%	0%		
適切な支援の提供	⑤ お子さまの課題と保護者さまのニーズが客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	92%	0%	0%	8%	0%		
	⑥ 個別支援計画には、お子さまの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	0%	0%		
	⑦ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	92%	0%	0%	8%	0%		
	⑧ 療育プログラム内容が固定化しないよう工夫されているか	83%	0%	0%	17%	0%		毎月、定例会議にて翌月のプログラムを考案しています。季節や月の行事にあった内容を組み込んでいます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会を希望されますか	42%	0%	42%	16%	0%		
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	0%	0%	8%	0%		
	⑪ 「個別支援計画」を示しながら、支援内容について丁寧な説明がなされたか	92%	0%	0%	8%	0%		
	⑫ 保護者さまに対して行われる家族支援プログラム(※ ペアレント・トレーニング 等)の機会を希望されますか	42%	17%	25%	16%	0%	仕事をしているのでその日に付けるかどうかわからない為、予定が合えば是非希望したい	茶話会同様、利用者様のニーズに寄り添えるよう日程等も考慮し、対応していきます。
	⑬ お子さまの状況や課題について共通理解ができていると思えますか	100%	0%	0%	0%	0%		
	⑭ 保護者さまに対して面談や、育児に関する助言要請があった場合、適切に対応しているか	92%	8%	0%	0%	0%		
	⑮ 茶話会等の開催等により保護者様同士の連携が支援されているか	50%	17%	0%	33%	0%		年に数回、利用者様向けの茶話会を開催しているが、開催日時の関係で参加しなくてもできないご家庭があった。今後については、ニーズを把握したくさんのご家庭に参加していただけるよう考慮していく。
	⑯ お子さまや保護者様からの相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応されているか	92%	8%	0%	0%	0%		
	⑰ お子さまや保護者さまとの意思の疎通や情報伝達は適切になされていますか	92%	0%	0%	8%	0%		
	⑱ 定期的に会報(オトモリ通信)やホームページ等で、活動概要や行事予定などは十分に発信されているか	92%	0%	0%	8%	0%		
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しておりますが、保護者さまに周知・説明されているか	75%	17%	0%	8%	0%		オトモリ通信等で掲載させて頂いております。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	91%	0%	0%	9%	0%		6月火災、9月地震を行っております。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	0%		
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	0%		

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか示せるように、タイルカーペットの色をわけたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまがお子さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とします。

[事業所向け] 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：【音の森 田家】

実施日：

2024/3/19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③	療育空間は本児にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○		今後、実施を検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			送迎時や、見学対応にて利用者様のご意見や願いを聞き計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			送迎出発前に、漏れがないようミーティングを行い、当日の利用者様のスケジュールを把握している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育日誌への記載や、翌日のミーティングにて振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、 保護者のニーズがあった場合 、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当/非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか	○		土曜日療育の課外活動にて、植物園等で一般のお客様との関わりを、施設として少しずつ行っています。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○	今年度、ペアレントトレーニング研修を実施、次年度に向けて、保護者の要望に応じて実施を検討。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		欠席加算や、上限、お弁当代についての説明を今後も漏れなく行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		年に数回行っている体験会では、地域密着型ではないが毎回数家庭に参加頂いている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			該当/非該当
	42	食物アレルギーのある子どもについて、 保護者の要望に応じて 医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

[保護者様向け] 放課後等デイサービス評価表 集計結果

公表日：令和6年 3月25日

利用児童数 16名 回収数 14名 88%

事業所名：音の森はこだて田家

R4.2 実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制設備	① お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか	93%	0%	0%	7%	0%		随時、見学対応及び療育見学会を開催しておりますので利用者様に把握して頂けますよう対応して参ります。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか (基準は児童10人に対し職員3名)	79%	7%	0%	14%	0%		10名に対しては職員4名～5名の配置をしております。
	③ 事業所の設備等は、お子さまが安全かつ安心に通えるよう配慮がなされているか。 事業所内は、お子さまにわかりやすい構造化された環境になっているか。	93%	0%	0%	7%	0%		
適切な 支援の 提供	④ お子さまの課題と保護者さまのニーズが客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	93%	0%	7%	0%	0%		個別支援計画に加え、専門的支援実施の計画書を元に、より利用者様(ご家族含む)のニーズに沿った内容の作成にあたります。
	⑤ 療育プログラム内容が固定化しないよう工夫されているか	93%	0%	7%	0%	0%		定例会議にて、毎月のプログラムについて検討し組み立てています。年間を通して季節の歌やパネルシアターを取り入れたり、専門職の意見を取り入れたサーキットを行っています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や活動する機会を希望されますか	29%	43%	21%	7%	0%		
保護者 への 説明等	⑦ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	0%		
	⑧ お子さまの状況や課題について共通理解ができていますか	93%	7%	0%	0%	0%		
	⑨ 保護者さまに対して面談や、育児に関する助言要請があった場合、適切に対応しているか	86%	7%	7%	0%	0%		今後は連絡ノートや送迎時の申し送りに加え、公式LINEや新システムの導入し、お仕事等で直接お会いできないご家庭との連携をより密に行います。
	⑩ 茶話会等の開催等により保護者様同士の連携が支援されているか	50%	36%	7%	7%	0%		コロナ禍も収まり、以前のように茶話会が開けるようになってきました。今年度は花園との合同で行い、来年度もニーズに合わせて数回行いたいと検討しています。
	⑪ お子さまや保護者様からの相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応されているか	93%	0%	7%	0%	0%		各ご家庭の連絡が取りやすい手段を選択して頂き、ライフスタイルにあった方法を提供させていただきます。
	⑫ お子さまや保護者さまとの意思疎通や情報伝達は適切になされていますか	100%	0%	0%	0%	0%		
	⑬ 定期的に会報(オトモリ通信)やホームページ等で、活動概要や行事予定などは十分に発信されているか	93%	7%	0%	0%	0%		
	⑭ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	93%	0%	0%	7%	0%		
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しておりますが、保護者さまに周知・説明されているか	64%	0%	7%	29%	0%	完全に私の理解不足で申し訳ないのですが、災害時の対応についてどのようになっているのか再度確認したいです。	災害時の避難場所や経路、その後の対応についてオトモリ通信等でお伝えさせて頂いておりますが、今後はより詳しく公式LINEにてお伝えさせていただきます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	64%	0%	0%	36%	0%		6月火災、9月地震を想定した訓練を行っています。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	64%	21%	7%	7%	0%		
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	86%	7%	7%	0%	0%	外での活動がもっと増えると嬉しいです。土曜日と祝日の療育をしたいと思います。	・今年度より始まった土曜日療育にて、工場見学や植物園へのお出かけ企画を来年度も行います。より楽しんで頂けるような様々な企画を提案させていただきます。

(注釈)

※「構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか示せるように、タイルカーペットの色をわけてたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。